

# ウェルビーイングと環境基本計画

---

～指標を使って町の資源(可能性)を探る～

2024年8月6日  
まちづくり政策課企画調整係

## ■「ウェルビーイング」に触れる

- ウェルビーイングとは？
- なぜ今、ウェルビーイングなのか？
- ウェルビーイング指標(地域幸福度指標)とはどんなもの？
- 環境基本計画に関連しそうな指標因子はどんなもの？

# — ウェルビーイングとは？

ひとことと言うと、**幸せ実感**。

WHOでは健康を

「身体的・精神的・社会的にウェルビーイングな状態」と定義



ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にある  
実感する幸せ。継続的に。（cf:ハッピーはもっと短期的な感情）

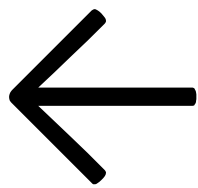
ウェルビーイングの対極にある概念は？

望まない、孤独・孤立

# — なぜ、いまウェルビーイングなのか？

## 世界的な流れとして

- ① 物質的な豊かさの飽和・成熟化  
→ GDPに代わる新たな指標の必要性
- ② 地球環境問題への対応  
→ 経済成長のみを目標に掲げる社会への疑問  
(SDGsも何のためだっけ？)



(° ° °) !

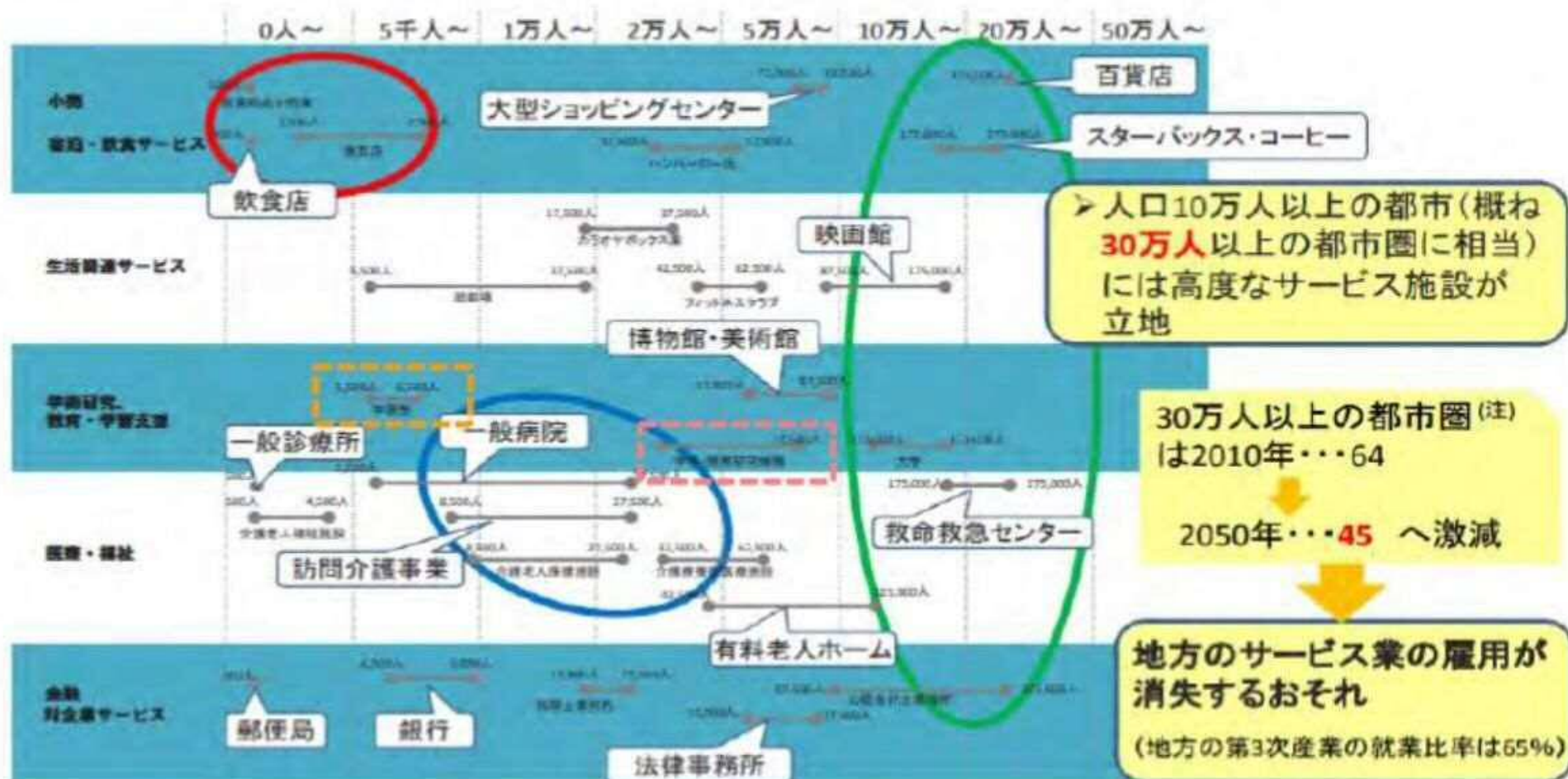
# — なぜ、いまウェルビーイングなのか？

## 国内動向として

- ③ 人口減少社会への対応
  - 「持続可能な環境・社会・経済」、  
「心ゆたかな暮らし」、  
「地域発の産業革新」の3本柱を掲げる  
**デジタル田園都市国家構想**

- 人材の流出が続けば、地方から暮らしを支えるサービス業が消滅し、暮らせない地域が増えていく恐れ。

# サービス施設の立地する確率が50%及び80%となる自治体の人口規模(三大都市圏を除く)



(出典)各種資料を基に国土交通省国土政策局作成

(注)三大都市圏を除く。

- 人口増加局面では。バス停に来るバスを待つなど、需要が供給に合わせる。しかし、人口減少局面では、バスが顧客の都合に合わせて動くなど、供給が需要に合わせることになる。
- その実現には、需給をリアルタイムで把握し、供給側の意思の確認を待たずに先にものやサービスを動かす、**デジタル基盤とデータの共有が必ず必要**となる。

### 人口増加局面

(国内消費拡大局面)

需要が供給に合わせる経済

交通	乗客がバス停で時刻表のバスを待つ
労働	雇用先の就業ルールに従業員が合わせる
買い物	消費者が売っている店まで買いに行く
教育	特定の学校・カリキュラムに生徒が集まる
医療	特定の医療機関とかかりつけ医に通う
物流	供給者側の指示で物流が動く
行政サービス	市役所に行って、手続きを申請する

- 人口も市場も増えるなら、供給からバリエーションを増やして、積極的に需給を調整できる。  
(バスの本数が増える局面なら、調整のしようもある。)  
→ 供給が需要に働きかけ、需要がそれに合わせる

### 人口減少局面

(国内消費縮小局面)

供給が需要に合わせる経済

交通	迎いの車が乗客の都合に合わせて
労働	従業員の暮らしに就業ルールが合わせる
買い物	商品が消費者の家に届けられる
教育	生徒の側が学校・カリキュラムを選ぶ
医療	患者が医療機関と医師を選ぶ
物流	重要動向に合わせて自動的に物が動く
行政サービス	通知を受け取り、手続きが自動的に行われる

- 人口も市場も減る局面では、供給はバリエーションを削るしかなく、重要なバリエーションにあわせようがない。  
(バスの本数が減る局面では、需要にあわせようがない。)  
→ 需要が供給に働きかけ、供給がそれに合わせる 3

- 人口増加局面では。バス停に来るバスを待つなど、需要が供給に合わせる。しかし、人口減少局面では、バスが顧客の都合に合わせて動くなど、供給が需要に合わせることになる。
- その実現には、需給をリアルタイムで把握し、供給側の意思の確認を待たずに先にものやサービスを動かす、**デジタル基盤とデータの共有が必ず必要**となる。

人口増加局面

(国内消費拡大局面)

需要が供給に合わせる経済

人口減少局面

(国内消費縮小局面)

供給が需要に合わせる経済

交通

乗客がバス停で時刻表のバスを待つ

迎えの車が乗客の都合に合わせる

人口減少局面であっても個人個人の幸せ実感を高めたい  
そのためのサービス提供を維持したい  
あるいは新たな施策を展開したい  
でも人的リソース(担い手)の減少は必然



1つ1つの事業の確度を高めていくことが必要

→ 供給が需要に働きかけ、需要がそれに合わせる

→ 需要が供給に働きかけ、供給がそれに合わせる 3

# — なぜ、いまウェルビーイングなのか？

## 地方公共団体として

- ④ 社会科学적アプローチを得たうえで原点に立ち返る  
→ 自治体の至上命題  
「**住民の福祉の増進**を図ること(地方自治法第1条の2)」  
でも、今まで出来そうが出来なかった**幸せの測定**

(人類は紀元前3世紀アリストテレスの時代から幸せを問うてきた。)

# — ウェルビーイング指標とはどんなもの？ (地域幸福度指標)

ひとことで言うと、個人の幸せ実感を測定する指標。

- ◎ デジタル田園都市国家構想を展開する中でデジタル庁が開発
- ◎ 心ゆたかな暮らし × 持続可能な環境・社会・経済  
(Well-being) (Sustainability)
- ◎ 地域における幸福度・生活満足度を計る4つの設問  
生活環境・地域の人間関係・自分らしい生き方の3つの因子群  
※ 3つの因子群は合計24のカテゴリーに細分して可視化

# — ウェルビーイング指標とはどんなもの？

## 松川町として

- ◎ 総合計画ほか各種行政計画の策定に際して、  
今後のまちづくりを議論する際の  
**共通言語**（価値観や目的のすり合わせ）として活用したい。  
しかも「幸福」という**ポジティブな価値に基づき議論**ができる。
- ◎ 課題発見～政策評価まで活用できる。



令和5年12月に**ウェルビーイング指標の測定**に対応した  
町民意識調査を実施

# — ウェルビーイング指標とはどんなもの？

## 松川町の調査状況

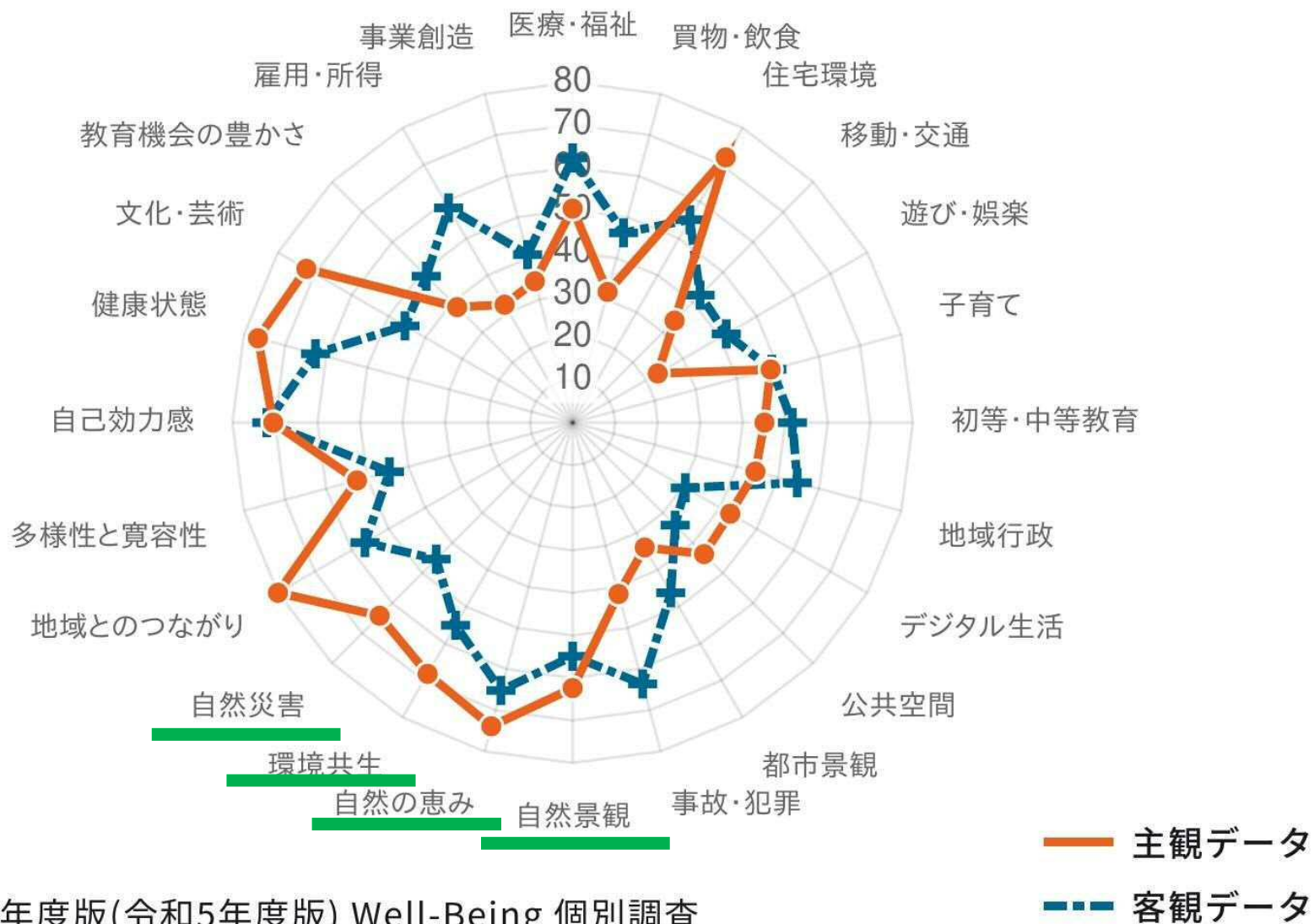
◎ 調査対象…満18～89歳の住民から2,500人を無作為抽出

◎ 回答者数…1,033人(回答率41.3%)

※ 松川町は「全国的にも取り組みが早い団体」に含まれる。

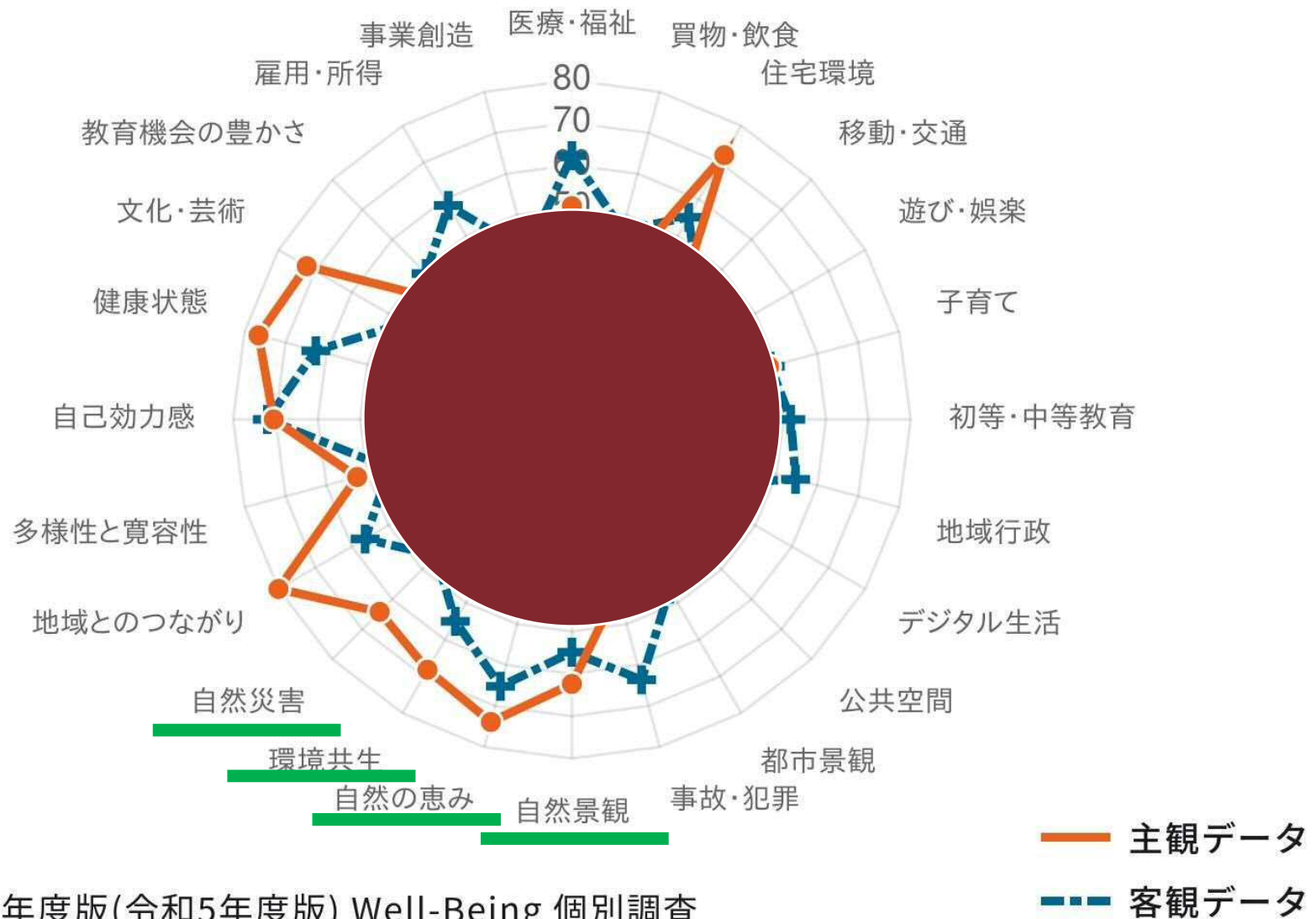
76／1,724市町村 (令和6年3月時点)

# 松川町の調査結果(24因子)



【出典】 2023年度版(令和5年度版) Well-Being 個別調査

# 主観・客観とも偏差値50超の因子＝松川町の強み



【出典】 2023年度版(令和5年度版) Well-Being 個別調査

# ■ 環境基本計画に関連しそうな指標因子はどんなもの？ ～ アンケートではどのように聞いているか ～

## 自然景観（主観62.4）

◎ 自慢できる自然景観がある

## 自然の恵み（主観73.9）

◎ 身近に自然を感じることができる

◎ 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

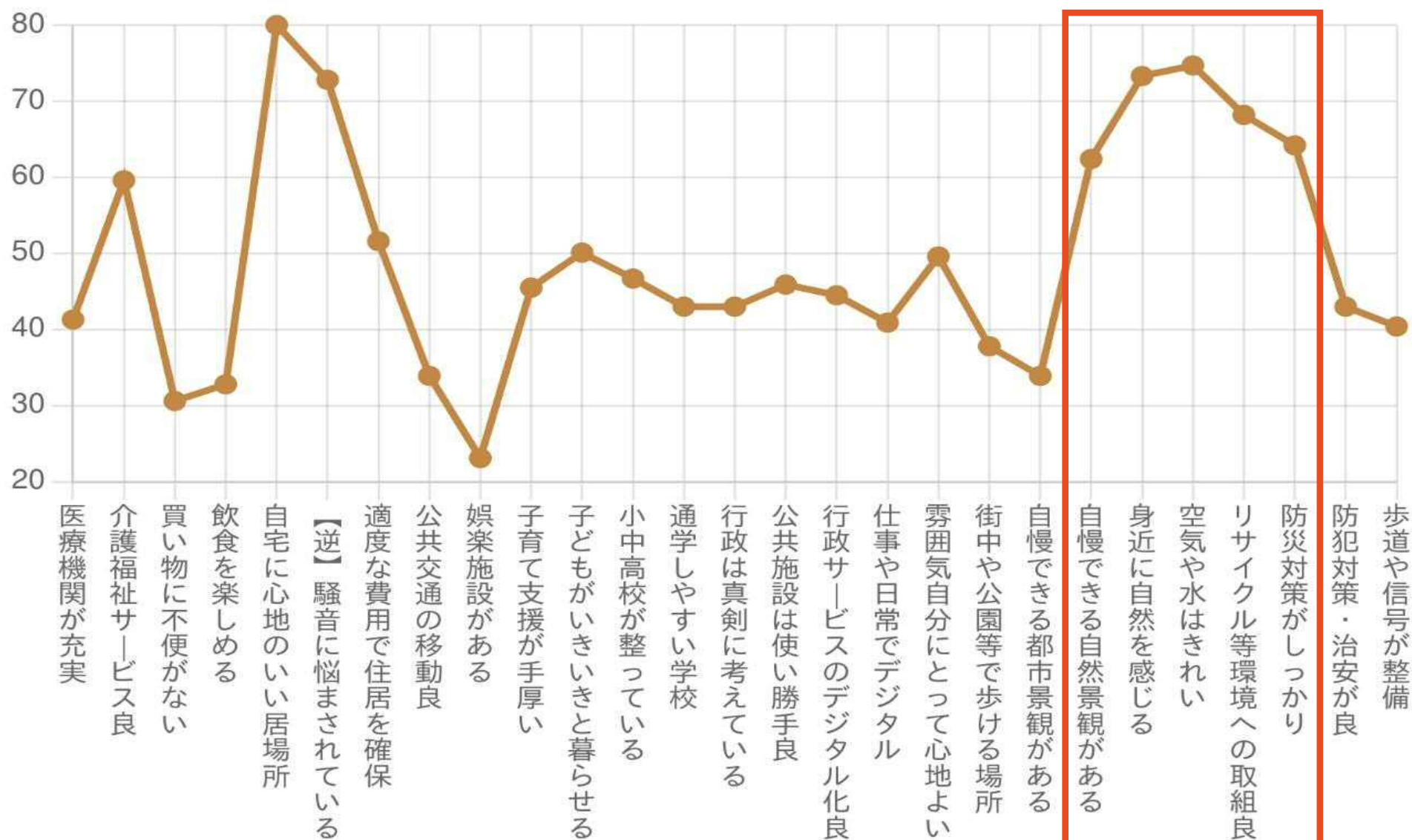
## 環境共生（主観68.2）

◎ リサイクルや再エネの活用等、環境への取り組みが盛んである

## 自然災害（主観64.2）

◎ 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている

## 生活環境



【出典】2023年度版(令和5年度版) Well-Being 個別調査

# ■ 環境基本計画に関連しそうな指標因子はどんなもの？ ～ 客観的な指標として活用されているデータ ～

## 自然景観（客観54.9）

自然景観指数

## 自然の恵み（客観65.2）

食料生産ポテンシャル、水供給ポテンシャル、木材供給ポテンシャル、炭素吸収量、蒸発散量、地下水涵量、土壌流出防止量、窒素除去量、リン酸除去量、NO<sub>2</sub>吸収量、SO<sub>2</sub>吸収量、洪水調整量、表層崩壊からの安全率、緑地へのアクセス度、水域へのアクセス度、オートキャンプ場への立地

## 環境共生（客観55.0）

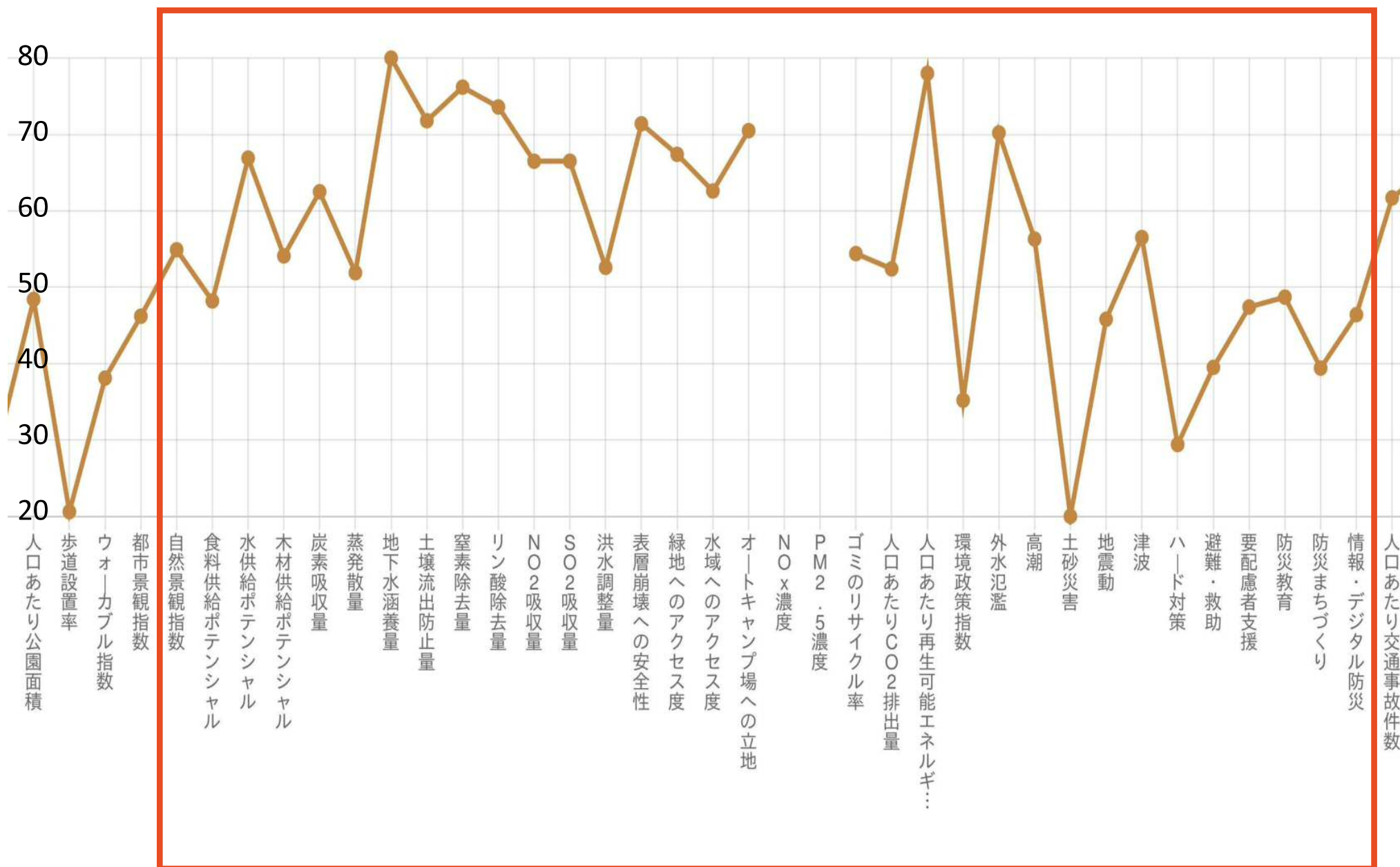
Nox平均値、PM<sub>2.5</sub>年平均値、ごみリサイクル率、人口あたり年間CO<sub>2</sub>排出量

人口あたり再エネ発電量、環境政策指数

## 自然災害（客観45.4）

外水氾濫危険度、高潮危険度、土砂災害危険度、地震動危険度、津波危険度、ハード対策、避難・救助、要配慮者支援、防災教育、防災まちづくり、情報・デジタル防災

## 生活環境



# 松川町の調査結果詳細

(デジタル庁のホームページで公開中)

下記QRコード      or

「 デジタル庁 ウェルビーイング指標 」 で検索



「1.ダッシュボードを見る」



「ダッシュボードを見る」



「個別調査」

「2023年度版」

「長野県」

「松川町」を選択

